笠間に息づくにようじんにようじんに

絵付け作業をする武内さん

市内には、それぞれの分野で匠(職人)といわれる方がいます。このコーナーでは、技を極めその技を次代に継承していくため日々精進している方を紹介します。

武内雅之さん (下市毛) 笠間焼総合部門伝統工芸士

平成4年に笠間焼が国の伝統的工芸品に指定されました。伝統工芸士は、その伝統的工芸品の貴重な担い手として、産地固有の技術・技法の研鑽に努め、その技を次代へ継承していくための中心的な人材です。

現在、武内さんは笠間焼伝統工芸士会の会長として、自ら技術・ 技法の向上に努めるとともに、後継者の指導・育成に力を注いでおり、 「正確な技術や技法を身につけることが産地としての信頼性や窯業 地としての地位を高めることになる。」と話していました。

ロクロ成形、絵付けを得意とする武内さんは、生活食器や花瓶類を中心に作品を制作しています。

武内雅之さんの



菊花文花器

本焼き焼成後、上絵付けにて菊花模様を手書きで配置する。赤で絵付けしたら一度800度で焼成し、その上に黄色を載せもう一度焼成し、最間後に金で絵付けし3度目の焼成で完成。



茜彩花器

上部に広がりをもつ花器。マスキングをして赤色で彩色。一度焼成してから緑、黄色の絵の具を使いフリーハンドで彩色し、2度目の焼成で完成。生地は白土を使用している。

第12代かさま観光大使を紹介します!

市の観光イベントや県内外の観光キャンペーンで活躍するかさま観光大使の12代目に斉藤弘実さんと横山加奈美さんの2人が選ばれました。 平成24年4月から26年3月までの2年間、笠間市の観光PRを行っていきます。 みなさん、よろしくお願いします!

斉藤 弘実さん

本格的な陶芸経験もあるなど芸術に関して造詣が深い。自身の体験を交えた効果的なPRが期待される。





横山加奈美さん

(城里町)

時間をみつければ笠間市内を散策している。お気に入りはあたご天狗の森からの眺望。もっと笠間の魅力を発見したくさんの人に伝えたいと意欲を見せている。